

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
コード番号 7927 URL <https://www.muto.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
問合せ先責任者(役職名) 取締役財務担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,446	9.9	328	168.6	496	40.6	325	△3.2
2023年3月期第1四半期	5,867	28.3	122	△19.2	353	96.6	336	177.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,237百万円(△14.6%) 2023年3月期第1四半期 1,450百万円(802.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	45.92	—
2023年3月期第1四半期	46.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	27,232	16,995	59.0
2023年3月期	25,940	16,222	59.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 16,065百万円 2023年3月期 15,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	65.50	73.50
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.00	—	67.00	79.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	25,600	△2.2	1,800	3.1	1,800	△15.9	1,400	7.7	197.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	7,739,548株	2023年3月期	7,739,548株
2024年3月期1Q	647,266株	2023年3月期	647,266株
2024年3月期1Q	7,092,282株	2023年3月期1Q	7,186,607株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約が緩和され、訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の正常化が進んでおります。しかしながら、急激な円安の進行、原材料や半導体の供給不足・価格高騰などが続いており、依然として先行き不透明な状況にあります。

世界経済におきましては、行動制限の緩和により、米国を中心に景気は持ち直しつつあります。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、世界的な原材料や半導体の供給不足・価格高騰及び物流の混乱が続いており、更なる長期化が懸念されております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、タイと中国における付加価値の高いミラーレスカメラが好調で、デジタルカメラ部品の受注は増加を続けております。自動車関連部品では、半導体不足等を背景とした得意先の生産調整による減産が落ち着き、需要・受注は増加傾向にあります。前期に好調だったプリンター部品におきましては、得意先からの受注が減少に転じました。電子ペン部品では、アフターコロナにおけるテレワークや在宅勤務の定着を背景に一定の需要を維持しているほか、電子書籍端末向け部品の受注が増加いたしました。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い需要は拡大傾向にあり、得意先から安定的に受注を獲得しております。

このような経済環境の中、プラスチック成形事業を中心に得意先からの受注が増加したことにより、売上高は増収となりました。また、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、営業利益は大きく増加いたしました。経常利益におきましては、為替差益が7千8百万円減少したものの増益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等が8千1百万円増加したことなどにより減益となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は64億4千6百万円と前年同四半期と比べ5億7千8百万円(9.9%)の増収、営業利益は3億2千8百万円と前年同四半期と比べ2億6百万円(168.6%)の増益、経常利益は4億9千6百万円と前年同四半期と比べ1億4千3百万円(40.6%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千5百万円と前年同四半期と比べ1千万円(3.2%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ部品や自動車関連部品、電子ペン部品、金型を中心とした取引先からの受注増加及び固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、増収・増益となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて61億5千2百万円と前年同四半期と比べ5億7千8百万円(10.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億4千2百万円と前年同四半期と比べ2億3千6百万円(221.7%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、電子ペン部品や医療機器部品の売上高は堅調に推移しておりますが、デジタルカメラ部品では半導体不足を背景とした減産により受注は伸び悩みました。自動車関連部品においても、当期中の受注回復を見込んでおりましたが、回復に時間を要しております。また、全般的な原材料の値上げによる付加価値の圧迫が続いております。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億2千4百万円と前年同四半期と比べ1千万円(4.8%)の増収となりましたが、セグメント損失(営業損失)は2千5百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)7百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、中国市場における需要が減少しており、前期に好調だった設計業務の売上高は減収に転じました。検査部門におきましても、得意先からの受注減少に伴い減収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて8千3百万円と前年同四半期と比べ1千1百万円(12.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は1千1百万円と前年同四半期と比べ1千1百万円(49.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8千6百万円増加し、180億8千3百万円となりました。受取手形及び売掛金が1億3千7百万円、原材料及び貯蔵品が1億5千7百万円それぞれ増加し、商品及び製品が1億2千6百万円、仕掛品が1億2千1百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億6百万円増加し、91億4千9百万円となりました。有形固定資産が11億6千3百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ12億9千2百万円増加し、272億3千2百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6千9百万円増加し、77億1千6百万円となりました。電子記録債務が5億1千万円、1年内返済予定の長期借入金が1億1千4百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が2億8千1百万円、短期借入金が2億7千9百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億5千万円増加し、25億2千万円となりました。長期借入金4億2百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ5億1千9百万円増加し、102億3千6百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7億7千3百万円増加し、169億9千5百万円となりました。為替換算調整勘定が8億4千万円増加し、利益剰余金が1億3千8百万円減少したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

世界経済におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約の緩和が進み、欧米を中心に経済活動の正常化の動きが拡大しております。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢を起因とする世界的な原材料や半導体の供給不足・価格高騰及び物流の混乱は依然として続いており、当社の生産に影響が出る恐れがあります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、ロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスクなどに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,762,477	8,767,485
受取手形及び売掛金	4,667,798	4,805,107
電子記録債権	571,521	641,065
商品及び製品	869,874	743,672
仕掛品	1,156,291	1,034,908
原材料及び貯蔵品	1,466,365	1,623,771
未収入金	127,155	148,638
その他	377,095	319,442
貸倒引当金	△1,579	△800
流動資産合計	17,997,001	18,083,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,201,490	2,241,071
機械装置及び運搬具(純額)	2,652,705	2,821,746
土地	1,190,115	2,053,744
リース資産(純額)	129,684	130,238
建設仮勘定	404,176	513,049
その他(純額)	693,051	674,929
有形固定資産合計	7,271,224	8,434,779
無形固定資産	207,234	212,595
投資その他の資産		
投資有価証券	174,571	194,280
繰延税金資産	101,404	101,069
その他	190,995	208,992
貸倒引当金	△2,295	△2,295
投資その他の資産合計	464,676	502,048
固定資産合計	7,943,134	9,149,422
資産合計	25,940,136	27,232,715

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,341,595	2,060,447
電子記録債務	149,111	659,117
短期借入金	2,836,500	2,557,000
1年内返済予定の長期借入金	953,616	1,068,612
未払法人税等	109,885	124,822
賞与引当金	211,999	138,793
関係会社整理損失引当金	257,350	248,158
その他	786,816	859,253
流動負債合計	7,646,873	7,716,204
固定負債		
長期借入金	1,072,608	1,475,042
長期未払金	156,004	156,004
繰延税金負債	342,614	373,305
役員退職慰労引当金	29,904	30,741
退職給付に係る負債	342,315	357,388
その他	127,292	128,265
固定負債合計	2,070,738	2,520,747
負債合計	9,717,611	10,236,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	9,936,528	9,797,661
自己株式	△477,957	△477,957
株主資本合計	13,893,700	13,754,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,926	70,255
為替換算調整勘定	1,399,157	2,239,987
その他の包括利益累計額合計	1,450,084	2,310,243
非支配株主持分	878,739	930,687
純資産合計	16,222,524	16,995,763
負債純資産合計	25,940,136	27,232,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	5,867,840	6,446,839
売上原価	4,957,014	5,302,665
売上総利益	910,825	1,144,173
販売費及び一般管理費	788,366	815,299
営業利益	122,458	328,873
営業外収益		
受取利息	17,207	38,023
受取配当金	3,509	3,670
為替差益	208,877	130,680
助成金収入	2,275	29
その他	9,663	7,637
営業外収益合計	241,532	180,042
営業外費用		
支払利息	10,736	11,437
その他	-	918
営業外費用合計	10,736	12,356
経常利益	353,255	496,559
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	47,248	8,584
固定資産売却益	128	929
特別利益合計	47,377	9,514
特別損失		
固定資産売却損	278	55
固定資産除却損	-	7,751
固定資産圧縮損	3,000	-
特別損失合計	3,278	7,807
税金等調整前四半期純利益	397,354	498,266
法人税等	61,983	143,619
四半期純利益	335,370	354,646
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,129	28,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,500	325,676

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	335,370	354,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,575	19,328
為替換算調整勘定	1,121,460	863,834
その他の包括利益合計	1,114,885	883,163
四半期包括利益	1,450,256	1,237,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,409,258	1,185,835
非支配株主に係る四半期包括利益	40,997	51,974

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,567,855	204,583	95,401	5,867,840	—	5,867,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,142	10,064	—	16,206	△16,206	—
計	5,573,997	214,647	95,401	5,884,046	△16,206	5,867,840
セグメント利益又は損失(△)	106,533	△7,673	23,598	122,458	—	122,458

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,147,652	215,663	83,523	6,446,839	—	6,446,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,515	9,236	—	13,752	△13,752	—
計	6,152,167	224,900	83,523	6,460,591	△13,752	6,446,839
セグメント利益又は損失(△)	342,682	△25,787	11,978	328,873	—	328,873

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。